

平成25年度 ①

生誕100年 桂ゆき—ある寓話—

戦前と戦後の前衛美術をつなぐ女性作家、桂ゆき（1913-1991）。彼女は、日本の民俗的な表現や日常生活に根差した独自の絵を創造し、コラージュやコルクなど油彩以外の材質を取り入れた作品も多く残しました。作品と資料約150点を通して、活動の全貌を紹介。

会 期	平成25年6月21日（金）～8月4日（日）
休 館 日	月曜日（ただし祝日の7月15日は開館）
開 館 日 数	40日
観 覧 料	一般900円（720円）・大学生700円（560円） ※（ ）は20名以上の団体料金。
主 催	下関市立美術館 読売新聞西部本社 KRY山口放送 美術館連絡協議会
協 賛	ライオン 清水建設 大日本印刷 損保ジャパン
助 成	芸術文化振興基金

関 連 催 事	<p>■美術リレー講座（会場：下関市立美術館講堂）</p> <p>①「桂ゆきのまなざし—その批評精神をめぐって—」 日時：平成25年6月30日（日）午後2時～ 講師：濱本 聰（下関市立美術館館長）</p> <p>②「桂ゆきの絵画の裏側」 平成25年7月7日（日）午後2時～・下関市立美術館講堂 講師：岡本正康（下関市立美術館学芸係長）</p> <p>③「桂ゆき資料の紹介 手習い帖やスケッチ帖など」 平成25年7月21日（日）午後2時～・下関市立美術館講堂 講師：関根佳織（下関市立美術館学芸員） ※聴講無料</p> <p>■ギャラリートーク（学芸員による展示解説） 7月6日、7月20日、8月17日、8月31日 いずれも土曜日・14時～（1時間程度） ※要観覧手続（観覧券購入など）</p> <p>■ワークショップ＜寓話をつくろう！＞ 日時：平成25年6月23日、6月30日（各日曜）午後1時30分～5時（2回通し） 会場：下関市立美術館造形室 内容：身近なものを使ってコラージュを制作。 講師：原野啓次氏（画家） 材料費：500円 定員：20名（事前申込・先着順）</p> <p>■ワークショップ＜紅絹の作品を作ろう！＞ 平成25年7月13日（土）午後1時～4時 会場：下関市立美術館講堂 内容：赤い布をつかって、お釜やしゃもじ、下駄などのミニチュアを制作。 自由参加（参加費無料、事前申込不要）</p> <p>■ワークショップ＜探検ギャラリートツアー＞ 日時：平成25年度7月15日（月祝）、7月27日（土） 各日11時・14時・15時30分 内容：会場マップを片手に会場内を探検。 ※要観覧手続（観覧券購入など）</p> <p>■ワークショップ＜桂ゆきをコラージュしよう！＞ 平成25年7月28日（日） （1）こどもの部（対象：小学校3年生～6年生）午前10時～正午 （2）おとなの部（対象：中学生以上）午後1時～3時 会場：下関市立美術館造形室 内容：桂ゆきの作品図版を切り貼りして「コラージュ」づくり 講師：川野裕一郎氏（画家・国画会会員・東亜大学芸術学部教授） 定員：各20名（事前申込・先着順） 参加費：無料</p>
---------	--

来 観 者 数 4,907人（有料1,651人+無料3,256人）

平成25年度 ②

下関市立美術館 開館30周年記念

芸術は魂のたべもの—河村幸次郎と美の世界

美術コレクションの寄贈を通し、下関市立美術館設立に大きく寄与して名誉館長の称号を授けられた下関市出身の実業家・河村幸次郎。下関市立美術館設立の基礎となった〈河村コレクション〉とともに彼が先導した下関の文化運動郷土玩具（河豚笛など）の創成などをあつづける資料を紹介し、稀代の文化人を回顧。

会 期	平成25年11月14日（木）～同年 12月23日（月・祝）
休 館 日	月曜日（ただし祝日の12月23日は開館）
開 館 日 数	35日
観 覧 料	一 般800円（640円）大学生600円（480円） ※（ ）は20名以上の団体料金。
主 催	下関市立美術館

開館30周年記念企画 無料開放 期間：平成25年11月14日（木）～11月19日（火）（ただし11月18日〔月〕休館）
11月14・15・19日は14時から展示解説を実施。

関連催事 ■記念講演会①「下関市立美術館と河村幸次郎名誉館長」

日時：平成25年11月16日（土）14時～

会場：下関市立美術館講堂

講師：木本信昭氏（前有田町教育長、元下関市立美術館副館長）

※聴講無料

■記念講演会②「日本の美術コレクター—石橋正二郎、出光佐三らと河村幸次郎—」

日時：平成25年12月14日（土）14時～

会場：下関市立美術館講堂

講師：植野健造氏（福岡大学人文学部文化学科教授）

※聴講無料

■学芸員による美術講座「河村幸次郎・人とコレクション」

日時：平成25年12月7日（土）14時～

会場：下関市立美術館講堂

講師：岡本正康（下関市立美術館学芸係長）

※聴講無料

■ギャラリートーク（学芸員による展示解説）

平成25年11月23日、12月21日 いずれも（土）14時～

※観覧券購入など観覧手続が必要

■記念コンサート「中島恒雄追悼ギャラリーコンサート」

日時：平成25年11月17日（日）14時開演

会場：下関市立美術館光庭

出演：三木妙子（ヴァイオリン）、山根陽一（ピアノ）、堀川真理子（チェロ）

※入場無料

■復刻「ふく笛」贈呈（企画：「ふく笛」復刻プロジェクト有志）

期日：平成25年11月14日（木）

対象：展覧会来観者（300個・先着）

■河村幸次郎遺愛品オルゴール、オートマタ（特別出品）上演

◆オルゴール上演

日時：会期中の土・日・祝日 15:00～（10分程度）

◆オートマタ（ヨーロッパの自動人形）上演

日時：展示解説（平成25年11月23日、12月21日）に引き続き14:50頃～

および平成25年12月8日14:00～（それぞれ10分程度）

※観覧券購入など観覧手続が必要

来 観 者 数 3,762人（有料640人+無料3,122人）

平成25年度 ③

下関市立美術館 開館30周年記念
～近代自然主義絵画の成立～
オランダ・ハーグ派

農村や海辺の風景、そこに暮らす人々の生活を描いた19世紀オランダの画家たち、「ハーグ派」。油彩画を中心に70点あまりの作品で、フランスのバルビゾン派からゴッホやモンドリアンに至る、近代自然主義絵画のもう一つの流れを紹介。

会 期	平成26年1月4日（土）～2月16日（日）
休 館 日	月曜日（祝日の1月13日は開館）
開 館 日 数	39日
観 覧 料	一般1,000円（800円）・大学生800円（640円） ※（ ）は20名以上の団体料金。
主 催	下関市立美術館 毎日新聞社 tysテレビ山口
後 援	オランダ王国大使館 オランダ政府観光局
協 力	KLMオランダ航空
企 画 協 力	株式会社ブレントラスト

関 連 催 事	■記念講演会「ゴッホをめぐるオランダとフランスの響き合い」 日時：平成26年1月12日（土）14時～ 会場：下関市立美術館講堂 講師：古谷可由氏（公益財団法人ひろしま美術館学芸部長） ※聴講無料 ■美術講座「オランダ美術紀行」 日時：平成26年1月26日（日）14時～ 会場：下関市立美術館講堂 講師：濱本 聰（下関市立美術館館長） ※聴講無料 ■ギャラリートーク（学芸員による展示解説） 日時：平成26年1月18日、1月25日、2月8日（各土曜）14時～ ※観覧券購入など観覧手続が必要 ■ワークショップ＜親子プログラム＞ 日時：平成26年2月1日（土）13時～16時 内容：親子一緒に展覧会を鑑賞し、ポスターなどを使ってエコバッグを作成 参加費：お子さんは無料。保護者の方は観覧券の購入が必要。 定員：12組（事前申込制）
---------	--

来 観 者 数 11,928人（有料5,221人+無料6,707人）